

Gallery  Mini Mori

# 東北福祉大学ギャラリーミニモリ

2026年度 ご協賛のお願い



東北福祉大学  
Tohoku Fukushi University



河北新報社

2016年7月にオープンした東北福祉大学ギャラリーミニモリは、所有する東北福祉大学と仙台市、河北新報社が締結した「地域人材育成及び社会貢献活動に関する包括的連携協定」に基づく文化発信の拠点施設です。

仙台市中心部の大規模展示施設は、宮城県美術館、仙台市博物館、せんだいメディアテークなど、JR仙台駅西側に集中しているため、ミニモリは同駅東口の本格的な展示施設として重要な役割を担っております。

ここ数年、公立館が改修のため休館したり、新型コロナウイルスの感染拡大で展覧会の開催自体困難な状況の中でも、安全策を講じて複数の展覧会を実施し、着実に実績を積み上げてまいりました。

今後もこれまで以上の利用促進や、より質の高い展覧会等の誘致に力を入れてまいり所存です。

つきましては、企画の主旨についてご理解いただきご支援を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

2026年2月

東北福祉大学 学長

千葉 公慈

河北新報社 代表取締役社長

一力 雅彦

# 取組実績 ①人材育成事業 「311『伝える／備える』次世代塾」

2

東日本大震災の風化を防ぎ、教訓伝承と防災の発信を未来に向けて継続していくため、2017年4月に「次世代塾」を開講しました。「伝える／備える」をキーワードに被災者らを講師に招き、震災の体験に向き合い、教訓を学ぶ場です。震災を語り継ぎ、防災啓発の担い手になる次世代の人材を被災地から地域、全国に送り出すことを目指します。

対象は10代後半から20代前半の大学生や専門学生、高校生の若い世代と社会人らで、年間15回程度の講座です。河北新報社と東北福祉大学、仙台市は、同大学仙台駅東口キャンパスの社会福祉貢献活動で協定を結んでおり、三者を核にした「311『伝える／備える』次世代塾を運営する世代推進協議会」（会長・一力雅彦河北新報社社長）が運営母体です。

## 河北新報 朝刊記事

第9期第1、2回講座

### 311 次世代塾

#### 救命現場想定外の連続

「訓練の応用も大切」学ぶ

東日本大震災の発生から10年。被災地では、震災の記憶を次世代に伝えるための取り組みが続いている。その一つが「311次世代塾」だ。仙台市、東北福祉大学、河北新報社が連携して開講している。第9期の第1、2回講座が、仙台市立中央図書館で開催された。

当日は、仙台市立中央図書館の多目的ホールで、約50名が参加した。講師は、震災時の救命現場に携わった消防士、そして、震災後の生活再建に取り組んだ被災者ら。彼らの体験を、参加者たちは真剣に聴き、時には涙を流しながら学んでいた。

第1回は、消防士の講話から始まった。震災時の救命現場で、想定外の連続的な事態に直面した経験について、参加者たちに語りかけた。第2回は、被災者の講話。震災後の生活再建の苦労や、震災を語り継ぐことの重要性について、参加者たちに語りかけた。

参加者たちは、講話を聴きながら、時には涙を流しながら学んでいた。震災の記憶を次世代に伝えるための取り組みは、これからも続く。

小野寺修さん、渡辺多佳子さん

看護の基礎大事

災害を自分事に

災害を自分事に、看護の基礎大事。災害を自分事に、看護の基礎大事。災害を自分事に、看護の基礎大事。

受講生の声

「311次世代塾」は、震災の記憶を次世代に伝えるための取り組み。参加者たちは、震災の記憶を次世代に伝えるための取り組み。

2025年5月23日(金)掲載

第9期15回講座

### 311 次世代塾

#### 遺族の悲嘆ケア学ぶ

仙台 喪失感を疑似体験

東日本大震災の発生から10年。被災地では、震災の記憶を次世代に伝えるための取り組みが続いている。その一つが「311次世代塾」だ。仙台市、東北福祉大学、河北新報社が連携して開講している。第9期の第15回講座が、仙台市立中央図書館で開催された。

当日は、仙台市立中央図書館の多目的ホールで、約50名が参加した。講師は、震災時の救命現場に携わった消防士、そして、震災後の生活再建に取り組んだ被災者ら。彼らの体験を、参加者たちは真剣に聴き、時には涙を流しながら学んでいた。

第15回は、遺族の悲嘆ケアについて、参加者たちに語りかけた。震災後の生活再建の苦労や、震災を語り継ぐことの重要性について、参加者たちに語りかけた。

参加者たちは、講話を聴きながら、時には涙を流しながら学んでいた。震災の記憶を次世代に伝えるための取り組みは、これからも続く。

津波の猛威驚き

継承の使命胸に

「311次世代塾」は、震災の記憶を次世代に伝えるための取り組み。参加者たちは、震災の記憶を次世代に伝えるための取り組み。

受講生の声

「311次世代塾」は、震災の記憶を次世代に伝えるための取り組み。参加者たちは、震災の記憶を次世代に伝えるための取り組み。

2026年1月16日(金)掲載

## 取組実績 ②河北新報社主催の文化展覧会 2025年度

3

●第86回河北美術展 2025年5月2日～8日

●第72回河北書道展 2025年9月6～9日、12～15日

●第6回杜のみやこ工芸展 2025年11月5日～9日  
宮城県芸術協会と共催で開催。

●第18回河北小中学生書道展 2025年11月22日～24日



第86回河北美術展



第72回河北書道展



第6回杜のみやこ工芸展



第17回河北小中学生書道展

### ●2026年度開催予定●

◎第87回河北美術展 5月2日(金)～8日(木)

◎第73回河北書道展 9月予定

◎第7回杜のみやこ工芸展 11月中旬予定

◎第19回河北小中学生書道展 11月下旬予定



## 取組実績 ③企画展 2025年度

4

### ●「劇場版ハイキュー！！ゴミ捨て場の決戦」展 8/7（木）～8/31（日）

古舘春一さんによる大人気漫画を映画化した「劇場版ハイキュー！！ゴミ捨て場の決戦」の展覧会。

名シーンの原画や映像資料の展示、フォトスポットから、劇中の世界観を体感できる展覧会でした。

開催期間25日間、来場者数13,561人。



### ●芥見下々『呪術廻戦』展 2026/2/14（土）～3/29（日）

芥見下々さんによる人気漫画「呪術廻戦」の創作秘話を解き明かす大型展覧会。

完成原稿ができるまでのネームや下書きを展示し、デジタル作画ならではの緻密な創作工程を紹介。キャラクターや設定、ストーリーといった作品づくりの最深部を、芥見さんのコメントを添えて解説します。



### ●今後の開催●

2026年度 企画展を開催予定。現在調整中

## 「ブロンズ協賛コース」

### 会場入口脇看板への社名露出

会場入口脇看板の1/3スペースを使用し、「東北福祉大学ギャラリーミニモリ」の展覧会を年間を通じて応援しています。」の文言と一緒に貴社ロゴを掲出します。



### 展覧会の招待券進呈

- ・ミニモリで開催する展覧会(河北新報社主催)のご招待券を各2枚進呈いたします。
- ・河北美術展、河北書道展のご招待券を各10枚進呈いたします。
- ・2026年に県内の公立館にて開催する展覧会(河北新報社主催)のご招待券を各2枚進呈いたします。

### 新聞広告への社名露出

ミニモリの紹介広告(河北新報朝刊・全3段)へ貴社ロゴを露出します。



協賛金:10万円(税別)

# 協賛コース一覧、各種締切について

6

	プラチナ協賛コース 100万円	ゴールド協賛コース 50万円	シルバー協賛コース 30万円	ブロンズ協賛コース 10万円
ミニモリビジョン 貴社CM放送	○			
ミニモリビジョン 連合CM放送	○ 読みあり	○ 読みあり	○ 読みなし	
会場入口脇看板への 貴社名露出(ロゴ)	○	○	○	○
ミニモリで開催する展覧会 (河北主催)のご招待券を 適宜進呈	○ 5枚	○ 4枚	○ 3枚	○ 2枚
河北美術展、河北書道展 のご招待券	○ 100枚	○ 50枚	○ 30枚	○ 10枚
河北新報社主催の展 覧会(県内公立館)の ご招待券	○ 20枚	○ 10枚	○ 5枚	○ 2枚
ミニモリ新聞広告への 貴社名(ロゴ)露出	○	○	○	○

①モニターの放送時間は7時～21時です。

CMは5分～10分間隔程度で放映になります。

②ご協賛の期限は1年間です、(2026年4月～2027年3月)

※金額は全て「税別」表記です。

**お申込みご送付締切 3月13日(金)**

**貴社ロゴデータ(変更時)ai、確認用jpeg/pdf)ご送付締切 3月18日(水)**

お問合せ・ロゴデータ送付先 河北新報社事業部 伊藤 022-211-1332/ito@po.kahoku.co.jp